

2 0 1 4 年 度

事 業 報 告 書

社会福祉法人にじのこ福祉会

事業報告

社会福祉法人にじのこ福祉会

1. 法人の概要

経営主体	社会福祉法人 にじのこ福祉会
所在地	岡山県岡山市中区桜橋三丁目1番51号
	TEL 086-272-4111
	FAX 086-272-4171
代表者	理事長 浪尾淑子
法人設立年月日	2010年7月1日

2. 法人事業活動状況

2014年7月1日より第3期役員・評議員による法人運営を行っている。

事業拡大

今年度、理事会では、「岡山市認可保育所整備運営事業者」に応募した。ここでは、地域における待機児童解消、要望の多い一時保育の充実、在園児の保育環境のさらなる充実を目的とした増築を具体化した。4月岡山市配布の要綱に基づき、準備を進め、6月書類提出、7月岡山市のヒヤリングを経て事業予定者決定通知受理、12月補助金交付決定通知書を受理した。また、整備するために必要な園舎西側隣接地を、2月に協同プランニングから買い取るとともに、新たな駐車場の確保のため、協同プランニングから近隣の土地を借りることとした。

4者協議会

地域に貢献できる事業展開を模索することを目的として、岡山医療生活協同組合、(株)協同プランニング、(社福)岡山中央福祉会との4者協議会を定期的に開いている。そこでは、「医療・子育て・介護」のそれぞれの分野を担う法人が集まり、この地域に貢献できる事業展開を継続して協議している。

今年度は、子育ての分野として、地域の方で、働いているにも関わらず保育園に入園できなかった方を対象に、一時保育の保育時間を19時まで延ばし、さらなる充実を図った。

その他、(株)協同プランニングからの土地の購入や新たな土地の賃貸借契約を結ぶことが出来た。その結果として、新しい事業展開が実現できた。

3. 理事会・評議員会 開催状況

理事会開催状況

開催年月日	出席者人数	議題	欠席者氏名	出席監事氏名
H26 5/21	理事7名 監事2名	第1回理事会 経過報告 1号議案：評議員の選出について 2号議案：2013年度社会福祉法人にじのこ福祉事業報告書(案)について 3号議案：2013年度社会福祉法人にじのこ福祉決算報告書(案)について [監査報告] 4号議案：規定類の改定について 5号議案：保育所の施設整備について 6号議案：評議員の選定について		岡野鈴子 藤原弘典
H26 6/18	理事6名 監事1名	第2回理事会 経過報告 1号議案：新役員の同意 2号議案：新評議員の選任 3号議案：理事長の選任 4号議案：職務代理者の指名について 5号議案：2013年度決算書について [監査報告]	入江慶太	藤原弘典
H26 10/15	理事7名 監事2名	第3回理事会 経過報告 1号議案：園舎の増築および定員増について 2号議案：福祉貸付資金申し込み及び担保提供について 3号議案：土地の売買契約締結について 4号議案：保育園駐車場南側の土地の土地賃貸借契約について 5号議案：保育士等处遇改善臨時特例事業補助金について 6号議案：2014年度第1回補正予算について		岡野鈴子 藤原弘典
H27 1/26	理事6名 監事2名	第4回理事会 経過報告 1号議案：園舎西側隣地の土地賃貸借契約について 2号議案：保育士等处遇改善臨時特例事業補助金について 3号議案：2013年度第2回補正予算について	入江慶太	岡野鈴子 藤原弘典
H27 3/5	理事7名 監事2名	第5回理事会 経過報告 1号議案：入札結果と再入札について 2号議案：福祉貸付資金の借入金額変更と資金計画について 3号議案：2015年度事業計画書(案)について		岡野鈴子 藤原弘典
H27 3/10	理事7名 監事2名	第6回理事会 経過報告 1号議案：定款変更について 2号議案：福祉貸付資金の借入金額変更と資金計画について 3号議案：2014年度第3回補正予算について 4号議案：規定の改定について 5号議案：新制度への移行手続きについて 6号議案：2015年度事業計画書(案)について 7号議案：2015年度当初予算書(案)について 8号議案：当座貸越の契約更新について 9号議案：2013年度の労働組合からの要求について 10号議案：前回理事会の経過を踏まえての協議		岡野鈴子 藤原弘典

H27 3/24	理事7名 監事2名	第7回理事会 経過報告 1号議案：入札結果と施工業者の決定 2号議案：規定の改定および労使協定について 3号議案：2015年度の労働組合からの要求について		岡野鈴子 藤原弘典
-------------	--------------	--	--	--------------

評議員会開催状況

開催年月日	出席者人数	議 題	欠 席 者 氏 名	出席監事氏 名
H26 5/21	9名	第1回評議員会 1号議案：2013年度社会福祉法人にじのこ福祉事業報告書(案)について 2号議案：2013年度社会福祉法人にじのこ福祉決算報告書(案)について [監査報告] 3号起案：保育所の施設整備について	井上伸二 伊原潔 狩野毅 景山一正 黒瀬章子 中西直美	岡野鈴子 藤原弘典
H26 6/18	10名	第2回評議員会 経過報告 1号議案：新役員の選任 2号議案：2013年度決算書について [監査報告]	井上伸二 黒瀬章子 清水博文 長田美和子 森岡健司	藤原弘典
H26 10/15	8名	第3回評議員会 経過報告 1号議案：園舎の増築および定員増について 2号議案：福祉貸付資金申し込み及び担保提供について 3号議案：土地の売買契約締結について 4号議案：2014年度第1回補正予算について	伊原潔 井上伸二 狩野毅 清水博文 中西直美 森岡健司 山崎晶弘	岡野鈴子 藤原弘典
H27 1/26	12名	第4回評議員会 経過報告 1号議案：福祉貸付資金の金額変更と担保提供について 2号議案：2014年度第2回補正予算について	井上伸二 長田美和子 山崎晶弘	岡野鈴子 藤原弘典
H27 3/10	11名	第5回評議員会 経過報告 1号議案：定款変更について 2号議案：福祉貸付資金の借入金額変更と資金計画について 3号議案：2013年度当初予算(案)について 4号議案：規定の改定について 5号議案：2015年度事業計画書(案)について 6号議案：2015年度当初予算書(案)について 7号議案：当座貸越の契約更新について	伊原潔 井上伸二 長田美和子 山崎晶弘	岡野鈴子 藤原弘典

4. 監事監査の実施状況

2014年5月21日(金) 10:00～ 岡野鈴子監事(業務監査)・藤原弘典監事(会計監査)
 2014年6月18日(水) 16:00～ 岡野鈴子監事(業務監査)・藤原弘典監事(会計監査)

5. その他

岡山市指導監査 2014年12月19日(金) 13:30 ~ 法人監査・施設監査

職員採用試験 2014年8月9日(土) 9:00 ~ 14:30 新卒2名・既卒1名採用

	4者協議会
4月	
5月	
6月	
7月	1日(火)
8月	27日(水)
9月	
10月	2日(木)
11月	2日(木)
12月	
1月	28日(木)
2月	
3月	19日(木)

事業報告

岡山協立保育園

1. 保育を取り巻く状況

【国】

待機児童数

厚生労働省は、2014年4月の待機児童数は21,371人で、同年10月の待機児は43,184人と公表している。このような中、岡山県の待機児童数は、4月23人、10月75人と発表されている。岡山市の待機児童数は、年間を通して0人ということだが、地方単独保育施策の中で保育されている児童が、4月1,128人、10月980人にのぼる。このように、岡山市は、認可外保育施設に頼るところが大きいのが現状といえる。

* 地方単独保育施策...

保育所の入所申込が提出され入所要件に該当しているが、地方公共団体の単独保育施策(いわゆる保育室・家庭的保育)に入所しているため待機児童にならない児童のこと。

子ども・子育て新制度

新制度は、介護保険制度をモデルにしている。そして、「措置」から「契約」へという社会福祉基礎構造改革の一環として保育分野での具体化がされたものである。新制度は、認可保育所以外の多様な保育を位置づけること、保育の利用については市町村が保育の実施に責任を負い、市町村の責任で保育を提供する仕組み(現物給付)から、利用者である保護者が施設・事業者と直接契約し、保育の利用に対して市町村が補助をするしくみ(現物給付)への変更を特徴とする制度として構想された。

当初は、認可保育所も含めてすべての施設・事業を直接契約制度にするという提案であったが、施設・事業者の意向が優先され、困難を抱えた子どもや家庭が排除されるなど、子どもの権利保障が脅かされる危険性がある内容となっている。

私たちは、保護者がどんな状況であっても、すべての子どもたちに平等に保育を保障するためには、国や自治体など公の責任が不可欠であると広く世論に訴えてきた。そうした声が集まることで、「市町村の保育実施責任」を児童福祉法24条1項として、認可保育所に限って復活させることができた。

私たちは、運動の中で、この問題以外にも、短時間認定の利用時間帯に関わる考え方の変更、地域型保育事業等を災害共済給付の適応対象にするなどの改善を実現してきた。

【岡山市】

「子ども・子育て支援事業計画」

新制度において、各市町村は、さまざまな子ども・子育て家庭の状況やそれぞれの事業の利用状況・利用希望を把握して、5年を1期とする「子ども・子育て支援事業計画」を策定し、計画的に実施・整備を行うことになった。岡山市も、2019年度を今期最終年度として、これを策定している。なお、2017年度は、実態を考慮した見直し年度になっている。

人口の動向

岡山市の人口を5年ごとに見ると、総人口は増加傾向が続いているが、2015年をピークに、減少に転じることが見込まれている。15歳未満の子どもの割合は、2010年から減少しており、出生率は減少傾向にあるが、岡山市は、全国平均を1%程度上回っている。

保育園利用者数

保育園の入園状況を見ると、毎年入園児童数は増加している。2014年度4月の入園数は、14,297人（公立：5,492人、私立：8,805人）であった。

保育・教育提供区域

岡山市は、地理的条件、人口、交通事情その他社会的条件、施設の整備状況、その他を総合的に勘案して、30の区域を設定している。

岡山市在住の0歳児から小学校6年生までの子どもがいる世帯から、中学校区ごとに同じ割合になるように、無作為に抽出した5,000世帯へのアンケート調査の結果をもとに、国から示された「量の見込み」の算出手法に従い算出した数字が発表された。

【東山中学校区】

量の見込みと確保方策

岡山市が示す「量の見込み」では、地域型保育事業により、0歳児を9人、1～2歳児を9人の毎年18人ずつ増やすことで確保方策を取ろうとしている。この取り組みにより、2018年度から「確保方策」が「量の見込み」を上回ることが推測できる。

2. 岡山協立保育園の概要

(1) 地域の概要

岡山協立保育園は、岡山駅から車で約10分のところに位置しており、高齢者が多い地域になっている。街の中心部であるため、周囲2キロ以内には認可保育園が13園あり、保護者は勤務地に近いなどの理由で利用するケースが多くなっている。

在園児は、岡山市全域から登園しているが、中区が一番多く約78.8%を占めている。その他の地域では、東区が約2.6%・北区が約5.9%・南区が約12.7%になっている。地元東山中学校区の割合は、全体の約50%（平井小学校区約33%、旭東小学校区約17%）を占めている。園児は、岡山市内全域から登園しており、24小学校区から通って来ている。ここ最近は、地元からの入園が増えている。

(2) 施設の概要

- ・敷地面積 3766.04 平方メートル（うち駐車場の一部は借地...394.64 平方メートル）
- ・延床面積 814.09 平方メートル（園舎792.49 平方メートル・屋外倉庫21.60 平方メートル）

(3) 定員

- ・保育事業 定員90名（各年齢15名）

(4) 受入年齢

- ・受入年齢 生後 57 日目から就学前まで

(5) 保育時間

措置児

- ・午前 7 時から午後 6 時まで (延長保育は午後 6 時から午後 7 時まで)

一時保育利用児

- ・午前 7 時 30 分から午後 7 時まで

(6) 保育方針

- ・一人ひとりの子どもを大切にす
- ・父母の労働を保障する
- ・父母と園が連帯を持って、地域の人々の信頼と協力を得ながら保育の輪を広げる
- ・職員は保育の向上と充実に向けて学習につとめる

(7) めざす子ども像

- ・健康な子ども
- ・生活やあそびをつくりだす子ども
- ・ともだちと共に育つ子ども
- ・働く喜びがわかる子ども

(8) 年間利用児童数 (2015 年 3 月 31 日現在)

- ・定員超過率 115.2 % (昨年度比 + 1.5 %)
- ・月平均在籍数 103.7 人 (昨年度比 + 1.4 人)

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10	11	12	1月	2月	3月	合計
0 歳	4	5	7	8	9	11	11	14	17	17	18	21	142
1 歳	20	20	20	20	20	20	20	20	21	21	21	21	244
2 歳	14	14	16	17	17	17	16	18	18	18	18	18	201
3 歳	15	16	16	16	16	17	17	18	18	18	18	18	203
4 歳	16	15	16	16	16	15	15	16	16	16	16	17	190
5 歳	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	264
合計	91	92	97	99	100	102	101	108	112	112	113	117	1244
入園児数	8	2	5	2	1	3	0	7	4	0	1	4	37
退園児数	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3

退園理由...入所理由消滅(育休取得による退園)・転居など

(9) 一時預かり利用児童延べ人数

- ・年間開園日数 251日(昨年度比+13日)
- ・一日平均利用人数 約12.7人(昨年度比+2.9人)
- ・のべ利用人数 3176人(昨年度比+776人)

種別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
4時間未満	12	9	10	6	7	8	10	14	6	6	7	10	105
4時間以上 8時間未満	267	271	217	208	169	214	283	227	256	300	309	350	3071
合計利用数	279	280	227	214	176	222	293	241	262	306	316	360	3176

(10) 延長保育事業 18時～19時

- ・一日平均利用人数 約9.0人

(11) 職種別職員数(2015年3月31日現在)

()は非正規の人数・派遣を含む

形態	職種	施設長	主任 保育士	保育士	栄養士	調理員	事務員	用務員	合計
常勤職員		1人	2人	16(10)人	1人	2(1)人	1人		23(11)人
短時間職員				7(7)				1(1)	8(8)
合計		1	2	23(17)	1	2(1)	1	1(1)	31(19)

(12) 年間行事、災害訓練、健康管理、衛生管理等実施内容

実施月	保育園行事	健康管理 安全管理 災害訓練	地域行事への参加 行政・他団体との連携行事
4月	進級おめでとうの会 いのちを大切にす日	交通安全キャンペーン	
5月	端午の節句の会 保護者総会・父母の会総会・給食試食会 親子遠足(いちご狩り)	フッ素塗布	
6月	徒歩遠足 保育参観週間 クラス懇談会・給食試食会(3未)	救命救急講習会 定期健康診断 ぎょう虫・尿検査	旭東こどもまつり (旭東小学校)
7月	七夕の会 土用の丑の日の会 お泊り保育 クラス懇談会・給食試食会(3未)	歯科検診	交通安全教室 (岡山市生活安全課)
8月	プールじまいの会		宿題応援隊(岡山医療生協) 民話の会(旭東児童センター) 母親学校(岡山医療生協)

9月	おつきみかい 中秋の名月の会「すもう大会」	フッ素塗布 防犯訓練	平和の風船とばし（4者協議会） 人形劇（福祉交流プラザ 旭東）
10月	ちびっこまつり 芋掘り遠足		4園交流運動会 （旭東幼稚園・旭東保育園・博愛会保育園）
11月	お泊り保育 就学前懇談会 保育参観週間 お弁当の日	定期健康診断	交通安全教室（岡山市生活安全課） 岡山ドーム（岡山市私立保育園園長会） 母親学校（岡山医療生協）
12月	クリスマス会 おおきくなあれのつどい		
1月	七草の会 鏡開きの会 クラス懇談会・給食試食会（3上）	フッ素塗布	造形展（岡山市造形同好会）
2月	クラス懇談会・給食試食会（3末） 節分の会 劇団風の子観劇 角笛シルエット公演観劇		絵本を楽しむ会（旭東小学校）
3月	卒園児の会 ひなまつり茶会 おわかれ遠足 卒園式		震災支援もちつき（4者協議会） 交通安全指導（岡山市生活安全課）
定例	園庭開放 個人懇談 家庭訪問	避難・消火訓練 身体測定	中区子ども相談センター巡回訪問 子育てサポート委員会 ふれあい会食（岡山医療生協） 赤ちゃんマッサージ（岡山医療生協） 保育士養成校保育実習受入れ 看護学生保育実習受入れ 旭東民児協（民生委員児童委員協議会）

(13) 職員会議・職員研修

職員会議

- ・職員会議 毎月第1土曜日
- ・総括会議 2/14(土)・2/15(日)
- ・方針会議 3/7(土)・3/8(日)

職員研修

	主催	研修名	日時	参加者
全国	保育研究所	保育研究所フォーラム	4/26(土)・27(日)	坪中
	全国幼年教育研究協議会	全国集会	7/27(金)・28(土)	檀上
	全国保育団体連絡会	全国集会	8/2(土)・3(日)・4(月)	檀上・今在・明石・坪中
	全国保育問題研究集会	全国集会	8/23(土)・24(日)	坪中 檀上 池本
	内閣府・文部科学省・厚生労働省	幼保連携型認定子ども園教育保育要領中央説明会	7/18(土)	森岡
	全国民間保育園経営研究懇話会	経営研究セミナー	1/12(月・祝)・13(火)・14(水)	坪中
中四国	広島コダアイセンター	広島わらべうたセミナー	7/12(土)・13(日)	松浦
	神戸コ研	公開保育	12/16(火)	森岡
			1/22(木)	白砂
			1/23(金)	松浦・池本か
			1/28(金)	全職員
岡山県	岡山県民間保育所協議会	園長視察研修会	11/18(火)	坪中(要員：責任者)
		岡山地区保護者研修会(保育士)	6/23(月)・24(火)・11/29(土)	池本ま・今在・白砂・松浦・池本か・森・明石
		新任保育士研修	3/6(月)	2014年度新採用職員
	岡山県私立保育園連盟	特別経営セミナー	7/7(月)	池本ま
倉敷	倉敷コ研	倉敷食事セミナー	11/16(日)	坪中・森岡・塚本
		倉敷例会幼児セミナー	6/21・9/20・12/6(全て土曜日)	池本ま・白砂・今在
津山	インターナショナルすこやかキッズ	運動会種目講習会	4/13(日)	檀上・白砂・今在・池本ま
岡山市	岡山市私立保育園有志造形研究会	舟井造形研修	5/3・16/28・7/26・10/11・12/6・12/20	今在・片岡・檀上(造形展)
	私立保育園園長会	調査企画部名古屋視察研修	3/11(水)~12(木)	坪中
	岡山市	給食施設従事者研修会	1/21(水)	塚本
	岡山市保協研修	岡山市保育研究大会	11/22(土)	池本ま(研究委員)
		岡山市保育協議会総会	5/21(水)	正規職員全員参加
		地域の防災を考える	5/28(水)	白砂
		子どもの思いに心をよせて	7/15(火)	池本か

		音楽を通して	10/23(木)	今在
		歯と口から伝える食育	10/29(水)	塚本
		食物アレルギーについて	12/15(月)	河原
		子どもの育ちを考える絵本選び	1/14(水)	藤原
		障害児保育について	1/15(木)	片岡
	4ブロック	4ブロック調理実習	11/20(木)	河原
	4ブロック公開保育	10/29(火)	池本ま	
	4ブロック研修会	年8回程度	池本ま	
自主研修	岡山保問研 例会	食育	2月に1回程度	塚本(世話人)
		乳児	2月に1回程度	片岡・明石
		障がい児	2月に1回程度	森岡(世話人)・今在
		あそび	2月に1回程度	松本(世話人)
園内研修 (外部講師)	園内保育研修会	公開保育 (野崎末子)	5/27(月)～6/1(土)	全職員
		(野崎末子)	10/27(月)～ 10/30(金)	全職員
		(野崎末子)	12/1(月)～ 12/5(金)	全職員
		発達学習会 2回(田中真介)	9/30 10/24	全職員
		乳児保育学習 (小林純子)	8/30 11/1 2/7	全職員
		クラス公開保育・わらべうたを 歌う会 (高城としこ)	年4回実施	公開保育は保育士が 対象

(14) その他(建物等修理・修繕の実施、設備・備品等の整備内容等)

土地の取得

- ・園舎増築用地；岡山市中区桜橋三丁目772番5・772番6

建物・備品等の修理・修繕

- ・3未保育室網戸の張替 修理
- ・排煙装置、エントランス引き戸、事務所扉レバー 修理
- ・園庭遊具庫シャッター鍵の破損による交換 修理
- ・給食室食器洗浄機 経年劣化に伴う故障による修理

設備・備品等の整備

- ・3上ロッカー
- ・エプソンノートパソコン ハードディスク不具合による修理
- ・アルミ避難車スリム 1台

3. 2014年度の総括

保育内容

- 私たちの保育についての考え方 -

私たちは、「一人ひとりを大切にする」という理念を持っている。

集団保育の中で、一人ひとりを大切にすることを実践するため、乳児保育では「育児担当制」と「流れる日課」を、幼児保育では「異年齢混合保育」に取り組んでいる。

「育児担当制」（0～2歳児）

子ども達は、毎日決まった大人に関わってもらうことで、情緒が安定し、落ち着き、深い人間関係を築いていく。そういう当たり前の暮らしを保育園で保障するために、一人ひとりの子どもに担当の保育士を決め、子どものことをより深く理解し、目に見えにくいちょっとした心の変化や、昨日と違う今日の変化も感じ取れるように心がけて保育をする。

「流れる日課」（0～2歳児）

この時期の子どもの成長発達にとって、「眠り」は最も大切なもので、「眠り」を中心に、一人ひとりに合わせた一日の日課を作る。自ら眠り、おなかいっぱい食べ、しっかり遊んで、また眠る。この繰り返しで、やがて生活の見通しになり、自分で生活できる力の土台（主体性）をつくると考える。

「異年齢混合保育」（3～5歳児）

3歳以上児は、3・4・5歳の混合保育を行っている。この保育は、少子化が進み地域社会が閉塞的になり、異年齢での交流が少ない現代において、子ども同士の関わりを豊かに保障する。異年齢混合保育は、子どもの心の中にあこがれの気持ちや思いやりの気持ちを育て、自分自身に対する自己評価や自己像の形成を助ける。また、子どもたちのつながりが自然にでき、友達の見方が多面的になる。異年齢の存在があることで、子どもや保護者が、大きくなることへの見通しを持ちやすく、保育士も3年間の発達段階の中を生きるひとりひとりの子どもとして、その違いにより注目し、保育していくことが可能になると考える。

子どもの姿と保育

前年度3月より、新しいクラス的环境に慣れるための保育をスタートさせた。可能な限り担任が持ち上がりできたことで、4月当初8名の新入園児がいたが、落ち着いて保育を始めることができた。

新しい取り組みとしては、1・2歳児混合保育に取り組んだ。遊びでも生活の面でも2歳児のやっていることに1歳児があこがれて同じようにやろうとする姿や、言葉でのコミュニケーションを模倣する姿が見られたのは良い影響だった。最大で24か月の月齢差がある中での保育ということでは、月齢差の幅の中で発達を見ていくといいながらも、年齢にとらわれてしまい、環境設定についてどこに合わせたらよいかなどの迷いや、環境の中で一人一人の違いに合わせたかわりという点での不十分さがあった。

<行事をとおして>

子どもたちは、年間行事の「プールじまいの会＝プール活動発表会（８月）」「ちびっこまつり＝運動会（１０月）」「おおきくなあれのつどい＝表現活動発表会（１２月）」「卒園式（３月）」などに期待を持って取り組むことが出来た。また、それぞれの行事を観覧した保護者のみなさんから、「子ども達の成長した姿が感動的だった」「よく頑張っていた」との言葉を頂いた。

とくに、卒園式では、１時間という長い時間を、どの子ども緊張を乗り越え、主体的に堂々とした態度で卒園証書を受け取ることができた。卒園式は、子どもたちにとって、保育園で過ごしてきた日々の集大成であり、保育園最後の晴れ舞台でもある。この日、卒園式に参加して下さった来賓の方々も、子どもの堂々とした振る舞いや表情、長時間にわたる集中力や歌声を高く評価して下さるとともに、感動的だったと述べて下さった。私たち保育士も、子どもの姿や園外からの評価を受け、自信になった。

保育士は、年間を通し普通の保育の中で、子どもが出来るようになった「結果」だけでなく、取り組みの過程の中にある、子どもの「ちょっとした変化」や「心の葛藤」を、その都度丁寧に言葉にして子どもに伝えることを心がけてきた。こうした対応は、大人が子どもを認めるといったレベルにとどまらず、子ども自らの行動と感情が一致し、その子の考えや思いが明確になり、やがて自己を確立する段階で、自己一致した人間に育つと考えている。この丁寧な関わりこそが、私たちの保育の質の中心に有るものだと考える。また、大人に変化を認めてもらうことで、自分自身の変化に気付き、よりよい自分になるようとする意欲（向上心）を引き出すことにも繋がって行くとも考える。

保育で大切なことは、やってみたら「できたーできなかった」「面白かったー難しかった」「自信になったー不安になった」という子ども自身が感じる感情を、大人が理解し共感すること。そして、子どもが等身大の自分を受け止めることができる人間に育てること。子どもにとって、このような営みは、大人が理解してくれたからこそ生まれる安心感やそこを基盤とする向上心、そしてチャレンジし達成できた時の喜び、それらが、さらなる高みを乗り越えるための新たなエネルギーになっていくのだと考えている。

私たちは、子どもひとりひとりをよく見て、子どもの心を支え育む保育をこれからも実践していきたい。

各行事の参加のべ人数（園児・保護者・地域の方・職員）

- | | |
|-----------------|------------|
| ・ちびっこまつり参加者 | 421人 |
| ・おつきみかい参加者 | 428人 |
| ・おおきくなあれのつどい見学者 | 91人（観覧者のみ） |

<食育をとおして>

今年度は、２歳児以上の子ども達が、給食の下ごしらえに参加した。具体的には、筍の皮むき、ささげや空豆のさやむき、トウモロコシの皮むきなどに取り組んだ。

５歳児のつくって食べる活動では、保育園駐車場のひまわり畑でボランティアの協力のもと、季節の野菜を栽培収穫し、調理して食べる取り組みを行った。

また、５歳児は、毎日行うお当番活動の一環として、給食の下ごしらえ（皮むきや野菜を切る

作業)にも取り組んだ。秋のお泊まり保育以降は、4歳児も給食の下ごしらえを行っている。子ども達も、保育園の給食を支える活動であることを自覚し、意欲的に取り組む姿があった。また、この下ごしらえ当番は、子どもが家庭で、してもらうことが当たり前の生活から、家族の一員として家事の一部を任され、頼られる存在であってほしいという願いも込められた取り組みだ。

とくに食べることに興味の薄い子どもは、生活全般でも受身で、さまざまな経験が乏しい傾向がみられる場合が多かった。毎日の生活に自分が関わる活動は、これらの子どもへの刺激となり、良い変化がみられることが多かった。今後も、保育園にとって必要な仕事を任される経験や毎日行われる生活の営みに自ら関わることで、子どもの生活力や主体性を育む保育に取り組みたい。

< 安全対策 >

非常時訓練

月1回の「避難訓練」「消火訓練」と年1回の「不審者対応訓練」を実施した。

3月には、中区消防署旭東出張所の職員が立ち会いのもと、避難訓練と水消火器を使った消火訓練、消防自動車の見学を行った。毎月の避難訓練の成果もあり、子ども達が静かに迅速に避難する姿を見て、消防署の職員が「避難時間も短く、避難態度も良かった」とほめて下さった。通報模擬訓練もよい評価を頂いた。

また、今年度初めて行った「不審者対応訓練」では、不審者を装ったボランティアの女性が園庭のフェンス越しに子どもに声を掛けたり、侵入してきたところを職員が対応し、その間に避難する訓練を行った。訓練後の講評では、子どもの姿や職員の動きについて、落ち着いていて迅速に避難できていたと、高い評価を受けるとともに、対応職員の不審者への距離の取り方など、職員自身が身を守るための助言を頂いた。

非常災害時への対応

マニュアルを整備しなおすと共に、万が一を想定し、非常災害時の備蓄食料を増やした。現在は、園児と職員で、6食分の離乳食・食事・水・簡易トイレ・アルミシート・メガホンなどを備蓄している。また、岡山市より「岡山市緊急告知ラジオ」の支給を受けた。これは、緊急地震速報や避難勧告・指示などを大音量で伝えるもの。また、園では、災害時など緊急時の連絡を保護者と確実にを行うための緊急メールを設置している。このシステムは、県外にメールサーバーがあり、子どもたちの安否情報を確実に伝えることが出来る。

- 改訂した非常災害時の対応マニュアル -

- ・食物アレルギーの事故対応
- ・事故対応(応急処置)マニュアル
- ・防災対応マニュアル
- ・感染症・食中毒発生時対応マニュアル

事故への対策

岡山協立病院の角南先生をはじめ職員さんに来園してもらい、心肺蘇生の実地訓練を行った。保育園にも設置してある、AEDの使い方や乳幼児や大人の心肺蘇生、誤飲時の対処などを、保護者を交え実践した。

子どもの姿と保育

< 参観、懇談会の参加状況 >

保育参観（年 2 回）や個人懇談または家庭訪問（年 1 回以上）など、保育中での子どもの姿を参観したり、子どもと一緒に活動にする機会や、担任と保護者が話をする機会も設けた。保護者の状況を見るとき、保育園行事への参加人数は毎年増えているが、クラス懇談会の参加者は、それに比べ少ない現状にある。

今年度は、保護者の希望もあり、クラス懇談会で子ども達の普段の様子を動画で上映した。そして、子どもたちの姿を通して、その年齢の発達についての話をした。その後、保護者同士がグループに分かれ話し合った。

- 保護者の参加状況 -

- ・ 保育参観（保育参加）に参加した世帯数 77.5%
- ・ 個人懇談または家庭訪問実施した世帯 98.0%
- ・ クラス懇談会に参加した世帯 47.5%

—保護者の感想より—（感想の一部を紹介）

友だちと遊ぶ姿を見ることができてよかったです。いろいろ工夫してお互いにどうすればよいのか意見を出し合って、一つのものをつくっている姿に成長を感じました。

子どもたちの様子がよくわかりました。入園して2カ月ですが、先生方にもよくなれて楽しそうに過ごせていて安心しました。

今回は保護者参加型ではなかったので、子どもが普段誰とどんな風に遊んでいるのかじっくり見ることができました。また、子ども同士のケンカにおいて、先生方がどのように接していらっしやるのかも見ることができ、保護者としても勉強になりました。

自分の子どもと同じ年齢の子どもを持つ親と話すことができ共感できることや、もっと子どもにいろんなことを経験させることが必要だということがわかりました。

担任の先生からの専門的なアドバイスを頂けて、これからの子育てに役立てられたらと思います。

他の家庭での様子がわかり、自分が悩んだりしていてモヤモヤしているものがすっきりとしました。又このような機会があれば参加したいです。

< 父母の会活動 >

役員会が2ヶ月に1回開かれた。その他、バザーや保護者会主催のバス遠足なども行われた。バザーでは、父母の会役員などが中心となり手作り品を出品するなど、保護者に好評だった。

「おつきみ会」および「ちびっこまつり」の実行委員会や当日の準備などに、保護者が積極的に参加し取り組んだ。また、「パパ飲み会」「ママ飲み会」なども開かれ、さまざまな角度から、つながりができるよう取り組んだ。このような活動を通して、家族のことや仕事のことなどをゆっくり話すことができる機会が持てたため、保護者同士の親睦が深まったと感じる。

また、卒園児の保護者がおつきみ会の父母の会ブースを手伝うなど「卒園児とその保護者の会」のメンバーが積極的に父母の会活動に協力参加した。

「卒園児とその保護者の会」のメンバーを対象とした卒園児の会では、39人が参加し、作

って食べる活動として、パン作りを行った。作りながらの会話、食べながらの自己紹介、久しぶりの同窓会を喜ぶ姿が、あちこちで見られた。

<子育てと仕事の両立支援プロジェクトの助成>

一般社団法人生命保険協会より募集があり、『特別保育事業の実施に必要な設備の整備、備品の購入にかかる費用』に対する助成金の応募をした。全国では161件中33件、中国地方では4件中1件が選考により助成された。岡山協立保育園では、一時預かり事業の利用者が年々増加しており、就労により利用する児童は保育園で生活する時間も長くなる傾向にある。利用者数が急増したため、環境の充実をはかるために、300千円の助成金を受領し、一時預かり保育室の備品整備に充当した。

<寄付の受領>

子どもたちが育つ環境をよりよくすること、また、その環境の維持を願って父母の会が中心となり、総額1,244,459円の寄付を受けた(内訳;父母の会 1,011,000円、職員 210,359円、その他の個人や団体 50,100円)。

本年度は、保育環境の充実のために、平均台・巧技台などの運動遊具や、コルク積み木・木のおもちゃなどをはじめとした室内用玩具などの購入に充てた。

子どもとのかかわり

<多世代交流・ボランティア>

高齢者との交流では、5歳児の子どもたちが、ふれあい会食に年間のべ10回参加し、お年寄りとの交流を楽しんだ。また、地域のボランティアには、保育園行事などに参加してもらった。季節の行事や平日の夕方にアップル会の方が絵本の読み聞かせをしてくれたり、ひまわり畑の栽培活動を指導してくれたり、土用の丑の日には魚屋さんが子どもたちの前で活きたウナギをさばいてくれた。

なかでも、医療生協と共に行っている、「夏休み宿題応援隊」は、小学生と園児が交流し、楽しい時間が過ごせると大変好評だった。参加したボランティアのみなさんも、保育園の環境や子ども達が主体的に生活している様子を見て感心していた。

子どもがさまざまな世代の人と交流し、普段とは違うその場での振る舞い方を学んだり、たくさんの人に見守られ、大切にされている実感を持つことのできる機会となった。また、これらの取り組みを通して、岡山協立保育園を広く知っていただく機会にもできたと感じる。

<園開放>

地域に保育園を開放する園庭開放をほぼ毎月開催した。園庭開放がきっかけとなって保育園へ、親子で足を運び、子どもたちが生活する様子を実際に見ることで、一時保育の利用を希望する地域の方が増加した。

<一時保育事業について>

地域の利用者の受け入れを開始し3年が経過した。今年は、保育時間を1時間延長し19時ま

でに変更したところ、求職中の方や、仕事が決まり認可保育園への入園申請を出しているが、定員がいっぱいなどの理由で入園できなかった児童の利用が増えた。また、ひとり親家庭や住民税非課税世帯の方が、多く利用する傾向がみられた。認可保育園が足りず、行き場のない児童が、福祉事務所の紹介により当保育園の一時保育を利用することが多かった。

利用状況：のべ利用児童数	3,176人
就労理由での利用児童数	1,737人(54.7%)
実利用者における就労理由者の割合	37.4%

保育内容を向上させる取り組みについて

<公開保育・保育実践学習会・発達学習会>

私たちの園では、さまざまな研修会に参加しているが、今年度は、講師を招いての研修会に力を入れた。これは、若い職員が多くなっている中、職員みんなで保育を観察したり分析したり助言を頂くことで、理論と実践を結び付ける力を身につけられるよう取り組んだ。また、園内の保育の現状を把握し問題点を共通認識することも心がけた。園内研修は公開し、ともに学ぶ仲間がいることで、保育をよりよいものにしたいという思いを共有でき、私たちにとっても励みになった。

園内研修

保育実践学習会（講師：野崎）...年2回

公開研修会

わらべうた（講師：高城）...年3回（参加者：各回約13人）

乳児保育（講師：小林）...年3回（参加者：各回約30人）

乳児保育公開保育（講師：小林）...年1回（参加者：5人）

発達学習会（講師：田中）...年2回（参加者：各回約80人）

保育実践学習会

実践場面を録画したVTRを使い、自分の保育を客観的に見ながら、課題を明らかにした。子どもの現状や発達にあった環境構成や教材の準備、子どもの日課や大人の動きの見直し、クラスが抱えている問題についてどうすれば解決できるかを、職員集団で話し合った。その中で、気が付いたことや提案されたことについては、職員が自分の問題として納得し取り組めることから実践していくように心がけた。

実践するにあたっては、クラスだけに任せるのではなく、職責者をはじめクラスを超えて相談し、協力しながらすすめていった。そのことにより、子どもが能動的に遊べるようになったり、子どもと大人の関係性がより深まるなど、自分たちがやってみたことの結果をより実感することができ、一人ひとりの職員の自信につながったのではないかと思う。

わらべうた研修

講師の先生に実践を観察していただいた後、クラスごとに、年齢に合ったすすめ方や、大切にすることなどの話し合いをもち深めていった。年4回取り組むことで、話し合ったことを実践につなげることができ、前回からの子どもの変化について実感することができた。

夕方から取り組んだ「わらべうたをうたう会」では、レパートリーを増やすだけでなく、その

わらべうたがもともどのような背景で生まれたものか、どうやって遊ばれていたかなど、うたの背景を知っていくことで、その情景を思い浮かべながらあそぶことの大切さなどについても学習することができた。習ったうたのなかから、自分の好きなうたを子どもと一緒に楽しむことで、子どもたちの中から自然にうたが聞かれるようになってきた。

乳児保育研修

「一人ひとりを大切にする保育とは」をテーマに講演を聞いたり、「育児担当制と流れる日課」の考え方について確認をしたり、3歳未満児の各年齢の「保育環境」をビデオで見た後に、感じたことや自分の保育園との違いなどの意見交換をしたりした。7つの保育園が参加することで、各保育園の実態は違うが、自分の保育園で何ができるかを考え、お互い助言を得ることができた。

また、3回開かれた研修のまとめとして、年度末に公開保育も行い、学んだ内容を実践の中で確認できた。

発達研修

京都大学の田中伸介先生に、来援していただき研修会を開くことができた。この会には、公私立保育園の園長や保育士、保育養成校の教員、看護師養成校の教員、学生など幅広い参加があった。乳児期と幼児期に分けて講演をしていただいたが、琵琶湖学園の子どもたちの話やチンパンジーやボノボの話なども交えながらの講演だった。パワーポイントも使いながらの研修会だったが、子どもの育ちは、ただ単にそれぞれの分野でできるようになるといった単純なものではなく、それぞれの分野が関連しながら総合的にその質が変わっていくことが分かる内容だった。分かりやすい内容で、参加者にも好評だった。

経営報告

< 総合評価 >

- ・園舎の増築にともない、保育所施設・設備整備積立預金を取り崩して、土地の購入費用や設計料に充てた。また、次年度の増築工事へ充投するために前期末支払資金残高を取り崩して、保育所施設・設備整備積立預金を15,000千円積み立てた。また、当初予算を組む際には計画になかった「園舎の増築」事業を行うことが決定したため、例年以上に収入と支出のバランスに気を配りながら予算執行をした。
- ・貸借対照表で前年度末と比較すると、流動資産は1,168千円、固定資産は9,599千円増加しており、当期活動増減差額も前年度より2,374千円の増加となった。経営状態は良好であるといえる。